

主 要 年 表

(公社) 島根県緑化推進委員会の動き		県内・全国・社会
1950年(昭和25年)～1995年(平成7年)		
昭和25年4月1日	島根県緑化推進委員会が発足(松江市殿町県森林組合連合会内) 初代委員長 中島龍一	昭和25年国土緑化推進委員会設置(「緑の羽根募金運動」始まる)
昭和25年～46年	学校植林コンクールの開催	第1回植樹行事ならびに国土緑化大会が甲府市で開催
昭和26年	第1回島根県緑化大会、講和記念植樹	
昭和28年	老樹名木調査	
昭和34年	緑化運動10周年記念及び第9回緑化大会の開催	
昭和39年	東京オリンピック記念植樹	昭和39年 林業構造改善事業発足
昭和40年	緑化運動15周年記念大会(浜田市)	昭和42年社団法人国土緑化推進委員会設立
昭和43年	明治100年記念学校造林事業(31校) ※ 三瓶自然林愛護少年団(大田市立志学中学校)が県内で初めて緑の少年団として結成	昭和44年秋田県が「緑の少年団」結成を提唱 昭和50年緑の少年団育成強化方針(農水省) 昭和51年「全国緑の少年隊活動発表大会」(岐阜県)
昭和44年	緑化運動20周年記念行事(松江市)	昭和52年第1回全国育樹祭開催(別府市)
昭和46年4月18日	第22回全国植樹祭の開催(大田市三瓶山)	昭和60年国際森林年
昭和50年～54年	社会福祉施設へ緑化苗木の配布事業	昭和63年(社)国土緑化推進機構設立、「緑と水の森林基金」設置(平成23年改名)
昭和55年	緑化運動30周年記念行事	平成元年「みどりの日」(4月29日)制定、全国緑の少年団連盟結成
昭和58年	事業年度を4月～3月に変更	平成2年第1回緑の少年団全国大会(兵庫県)、「みどりの奨励賞」制定
昭和60年4月	松江市母衣町林業会館に事務所を移転(県森林組合連合会内)	平成5年県立ふるさと森林公園オープン(宍道町)
平成2年	第1回緑の少年団活動発表大会及び交流集会を開催(大田市国立三瓶青年の家)	
平成3年	第15回全国育樹祭の開催(大田市三瓶山)	
平成7年6月1日	「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」施行	
平成8年3月25日	島根県緑化推進委員会を解散	
平成8年度		
平成8年4月1日	社団法人島根県緑化推進委員会を設立 (現在地に事務所) 特定公益増進法人として認可(税の優遇対象団体)	「緑の募金」開始
平成9年度		
平成9年5月26日	新法人で地方緑化推進委員会設置規定を制定(9地方委員会)	「地球温暖化防止京都会議」開催
平成10年度		
	寧夏緑化国際協力事業「友好の森造成事業」に助成を開始 「馬谷小学校森林愛護少年団(益田市)がみどりの奨励賞を受賞し全国代表7校と鳥取県で発表。 「森林・樹木とのふれあい事業」を充実(体験ツアー等) 「中国四国地区グリーンボランティア指導者研修会」(県民の森)	
平成11年度		
	吉田中学校緑の少年団が「全国緑の少年団活動発表大会」で「みどりの奨励賞」を受賞、大阪府で発表。 緑の少年団海外派遣事業でカナダへ3名派遣	島根県林業普及事業50周年記念大会
平成12年度		
	「みどりの週間」に県内各地で緑の大使、県、市町村、団体等で街頭募金活動を充実。 平成12年4月29日 「しまね森林づくりコンクール」表彰と発表会 八雲中緑の少年団(八雲村)がみどりの奨励賞を受賞し全国代表7校と福島県で発表。	

平成 13 年度		
平成 13 年	事業内容と推進体制を大幅に変更。 (県緑委・地方緑委の 2 系統事業体制から県に一本化)	・「森林・林業基本法」が成立。国民の自発的 活動による森林づくり条項設置。
平成 14 年度		
平成 14 年	・ホームページの開設 ・募金額が最高額を記録 (42,697,784 円) ・「森の名手・名人」認定事業で県内 2 名が初認定	・「もりのくに・にっぽん」運動を開始? 「森 の名手・名人」の認定と高校生が名手名人を 取材する「森の聞き書き甲子園」を開始。 ・「地球温暖化防止森林吸収源 10 力年対策 策定」策定。国民参加の森づくりを推進
平成 15 年度		
	・「県民の森ふれあい講座」を年間 30 回、夏休み木工教室 を 8 回など体験事業の実施。 ・「学校林相談窓口」を設置し、総合的学習取組を支援した。	
平成 16 年度		
	・浜田市国際交流協会が、中国寧夏回族自治区石嘴山で植 林活動を実施。	・「京都議定書」の発効
平成 17 年度		
	・中国・四国地区緑化推進協議会総会を松江市で開催。	・県内市町村で「平成の大合併」が進む
平成 18 年度		
平成 18 年	・市町村合併や県地方機関の再編に伴い、地方緑化推進 委員会 (8 地区) を廃止し、市町村単位に再編	
平成 19 年度		
	・「日中友好 NPO しまね」の中国での植林を支援 ・県内企業 820 社へ「緑の募金」と「賛助会員」入会を呼び かけ(91 社協力)	・「みどりの月間」の設置
平成 20 年度		
	・「しまね森づくりコミッション」を設置し、企業の森づく りや学校での森林環境学習支援を開始 ・県産間伐材で名刺づくり事業を実施 ・雲南市「日登牧場」、松江市八束町「桜記念植樹」	
平成 21 年度		
	・「しまね森づくりコミッション」を設置、企業に森づくりを提案 ・中国・四国「森づくりコーディネーター養成講座」松江市宍道町	
平成 22 年度		
平成 22 年	・島根県緑化功労者表彰を開始 (会長表彰) ・「ゆうひパーク浜田」にラック付き募金箱を全国初設置 ・小中学校単位で結成されている「緑の少年団」に対する 森林環境教育出前講座を開始	
平成 23 年度		
平成 23 年	・東日本大震災復校募金の実施。 ・賛助会員が企業を中心に 294 となる ・県内道の駅 5 ヶ所にラック付き募金箱を設置 ・緑化ポスター原画コンクールで出雲市浜山中、谷口良太君 の作品が最高賞 (農林水産大臣賞) を受賞しポスターに 採用。(同君は平成 25、26、27 年も最高賞を獲得する快挙)	国際森林年 3 月 11 日 東日本大震災発生
平成 24 年度		
平成 24 年 4 月 1 日	・新公益法人制度の施行に伴い、島根県知事から公益社団 法人への移行認定を受け、4 月 1 日新法人として発足 ・「島根県・北京市緑化交流事業」開始。河北省に水源涵養 林の植林にボランティアを派遣。3 力年 30ha 植林支援。 ・「企業参加の環境緑化事業」発足 ・しまねっこオリジナルバッジ等推進資材を充実	全国美しい森づくり大会(もりふれ倶楽部)

平成 25 年度		
平成 25 年	<ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会による「緑の募金公募事業」現地調査 ・「緑の少年団」を中心とする青少年の環境教育強化方針を理事会で決議 	
平成 26 年度		
平成 26 年 9 月 12 日	・公益法人認定後最初の行政庁立ち入り検査の実施	
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・「中国・四国緑化推進協議会総会」島根県で開催 ・保育園・幼稚園を対象とし、森の大切さをキャラクターショーなどで伝える「森の教室」を 2 園で開催（以降、毎年実施し計 38 園で開催） 	
平成 27 年度		
平成 27 年	<ul style="list-style-type: none"> ・「島根県・北京市緑化交流事業」で県民交流団を派遣し、3 年間の植林支援（30ha・5 万本）を終了 ・緑の少年団ロシア派遣（2 団 5 名、国土緑推機構事業） ・「緑の少年団」が 100 団に到達、さらなる結成について県内校長会議等で要請 ・仁摩小学校緑の少年団（大田市）が「全国育樹祭」で活動内容を表彰 （以降、H28 旭小学校緑の少年団（浜田市）、H29 匹見小学校緑の少年団（益田市）、H30 池田小学校緑の少年団（大田市）、R1 高山小学校緑の少年団（大田市）と 5 年連続表彰） 	「パリ協定」で温室ガス削減の新たな国際協定を締結
平成 28 年度		
平成 28 年	<ul style="list-style-type: none"> ・「全国植樹祭」（平成 32 年）島根県での開催が内定 ・本会設立 20 周年記念大会の開催 	
平成 29 年度		
平成 29 年	<ul style="list-style-type: none"> ・出雲市谷口良太さんから寄贈を受けた原画・文をもとに緑化啓発絵本「どどん木をうえよう」を制作し、県内小学校 1～4 年生の各教室に配付 ・小中学校での森林環境教育を推進するため「こうすればできる！森林環境教育」を発行し、全小中学校へ配付 	
平成 30 年度		
平成 30 年	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の少年団への出前講座をさらに充実させるため「身近な自然に触れ合える出前講座」を発行し、全小中学校へ配付 ・緑の少年団の結成を促すため、未結成校に対する「出前講座試行事業」を実施（～R 元年度） 	
令和元年度		
令和元年	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の環境教育の重要性の高まりを受け、保育園・幼稚園教員向けの「環境教育研修会」を開催（参加者 42 名） ・保育園・幼稚園を対象として「森の教室」を全国植樹祭開催記念として県内 6 ヲ所（対象 18 園）で開催 ・全日本学校関係緑化コンクールで佐田中学校（出雲市）が準特選、来島小学校（飯南町）が入選 	